

# 医薬品配送支援システム評価のためのVR環境構築 営業所から顧客施設までの支援案比較に向けて

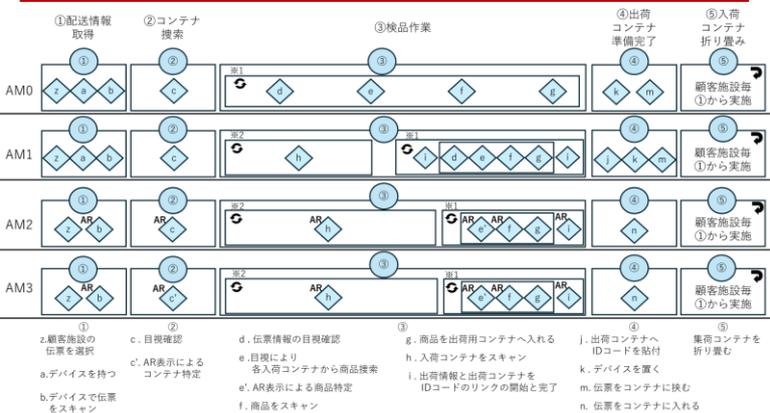
## 研究目的

■ AR支援を通じて、医薬品配送の業務プロセスの改善

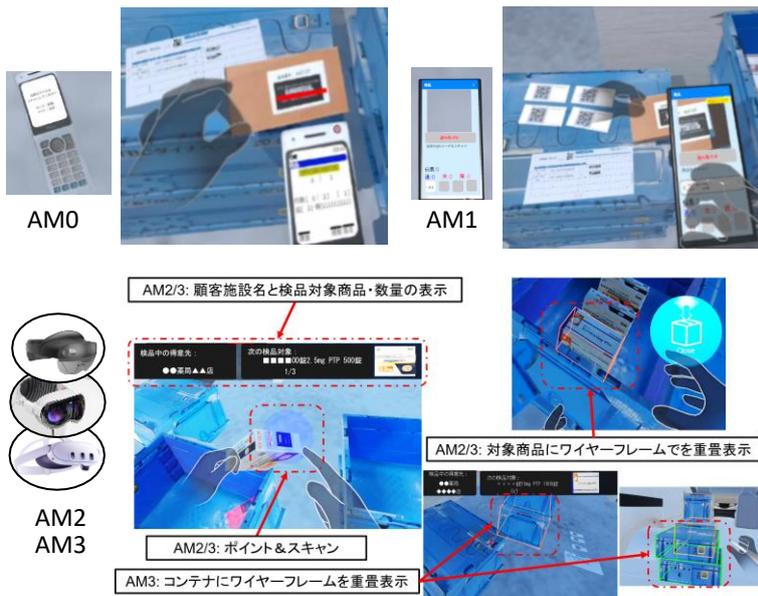


■ 日本の産業界では、AR技術がまだ広く受け入れられていないため、VR技術を用いたプロトタイプングサイクルを確立し、各ステークホルダー間の相互理解を促進

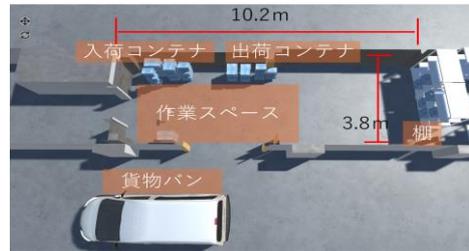
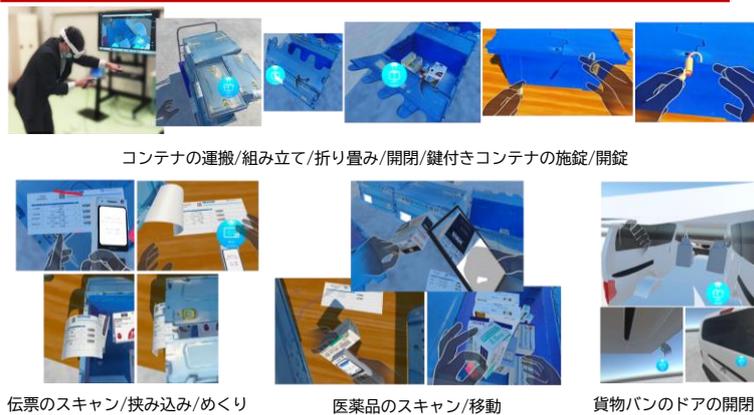
## 支援方法のプロトタイプング



営業所検品の各AM (Assistance Method) の典型的なワークフロー

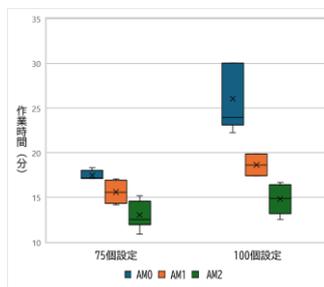


## VR環境の構築



実際の営業所に基づく環境モデル

## 予備テスト：作業時間の比較

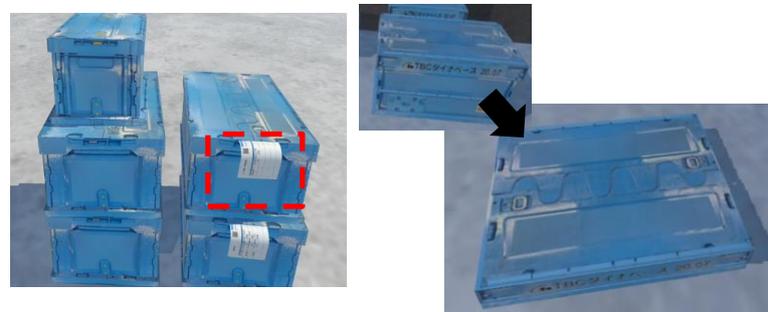


- 開発者チームによる135回と22時間以上の予備テスト
- 75アイテム：作業時間を25%削減
- 100アイテム：作業時間を42%削減

(注：実験結果ではなく、参考値である。)

## VR環境に関する要点

1) デジタルアシスタンスと物理的環境のアフォーダンスのバランスを意識すべき



スキャンした伝票をオリコンの蓋に挟むことで、出荷準備完了コンテナを簡単に確認

折り畳まれたコンテナは、コンテナに関する作業が完了したことを示す

2) VRにおける器用さの低下による作業のやり直しの増加と、複雑なボタン操作とのトレードオフを調整する必要がある